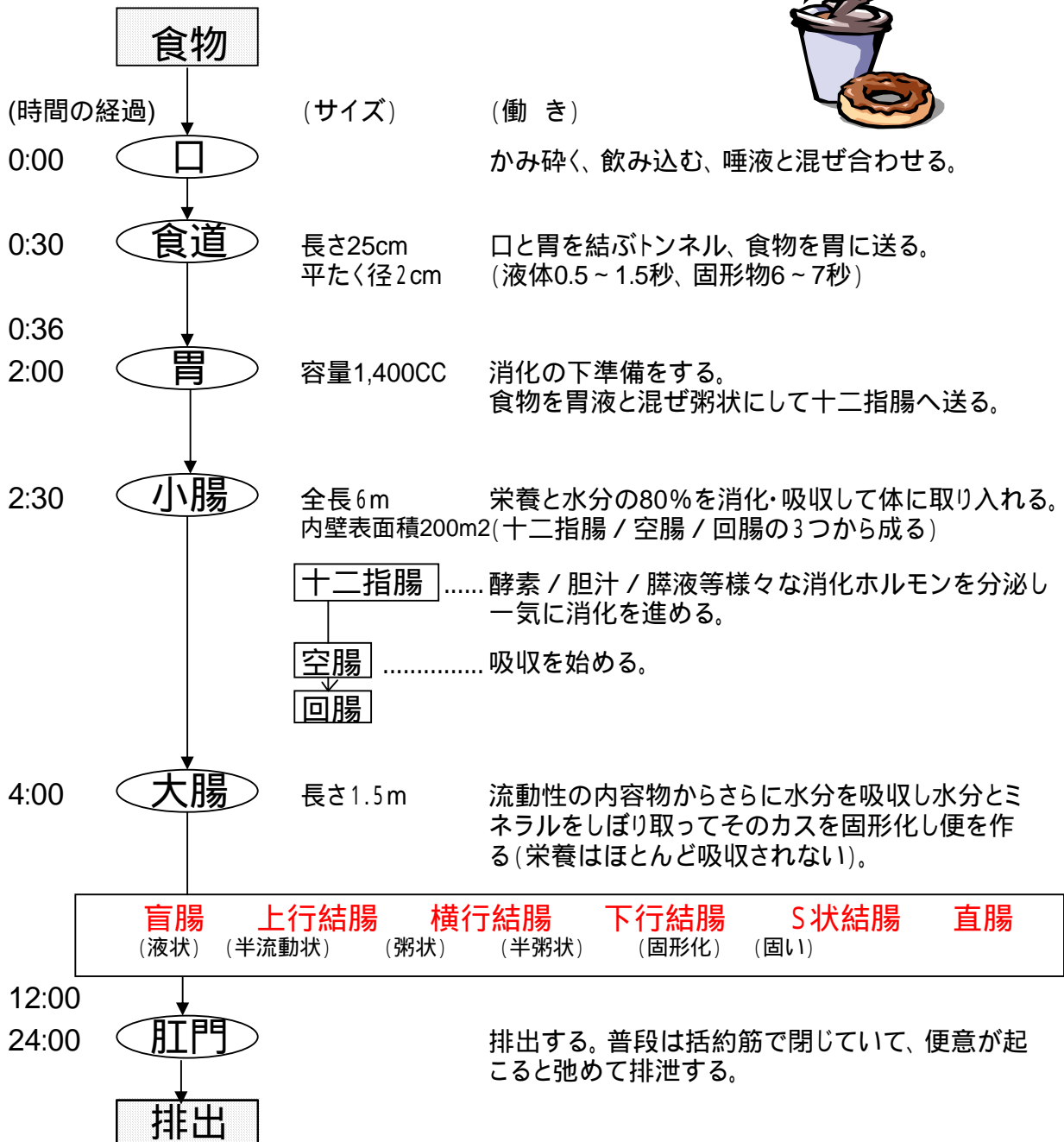


< 消化のしくみ(食物の動き) >

... 食べ物は長さおよそ10mの道のりを口から肛門へ24時間かけて旅をする



< 備考 >

膵臓について

昔はあまり重要視されておらず五臓六腑には入っていないが、おそろい臓器に膵臓がある。胃の後ろにあり、幅5cm、長さ15cmのソーセージ形をしている。腸の消化を助ける「膵液」と、糖代謝を促進させる「インシュリン」というホルモンを分泌する大切な働きをしている。

< 五臓六腑とは... >

東洋医学(漢方)でいうところの人体の内臓器官の名称:

五臓 : 肺臓・心臓・脾臓・肝臓・腎臓

"臓"とは内部が充実しているものをさす

六腑 : 大腸・小腸・胆・胃・三焦さんしょう・膀胱

"腑"とは内部が空虚な器官をさす

"三焦"は「みのわた」とも呼ばれ、解剖学上の器官ではなく、上焦・中焦・
下焦に分けられ、それぞれ呼吸器官・消化器官・生殖器官をさす。

『五臓は精気を蔵して瀉はせず満ちて実することなく、
六腑は消化物を伝えて蔵せず実にして満つることなし』

臓・腑はもともと蔵・府と書き両方とも倉庫の意。

肝腎要・肝心要(かんじんかなめ)の話

五臓六腑の中でも特に肝臓、腎臓、心臓の3つが大切な臓器と考えられ体の『要』となる大切なところという意味から肝腎要 或いは 肝心要という言葉が生まれた。